

類別 器具器械(32)医療用吸引器(手動式のものに限る。)
 一般的名称等 手動式医療用吸引器
 販売名 **アンプ マキシ サクションポンプ**

【警告】

ご使用前に本書を熟読し、本器の特徴・機能を十分に理解してください。
 咽頭・気管吸引手技について十分に訓練を受けた方のみ、本器をご使用ください。
 洗浄・殺菌・消毒・再組立は、本書に従ってください。
 また、洗浄・再組立の後は、正しく機能することを本書記載方法により必ず確かめてください。
 本書に記載されていない方法で、本器を絶対に操作・調整しないでください。
 本来の使用目的や使用環境の範囲、またその条件下における性能・強度・耐久性などを著しく逸脱して本器を使用しないでください。

【形状・構造等】

1. 構成

ポンプ、添付文書、サクシヨンブースタ(オプション)

2. 寸法及び重量

26(長)× 17(幅)× 13(高)cm, 1.9kg



【性能・使用目的、効能又は効果】

1. 使用目的

本器は足または、手で力(約2kg)を数回加えるだけで、吸引が行えますので、吸引用の動力源を得られない場所での咽頭・気管吸引に適しています。

2. 仕様

エアーフロー(@ 125ストローク/分): 最大29L/分、平均20L/分

最大陰圧: 73kPa(約550mmHg)

吸引制限バルブを使用した場合: 手動・自動操作ともに0.2 ~ 0.27bar(150 ~ 200mmHg)

【操作方法又は使用方法等(用法・用量を含む)】

1. 使用前の準備

水平または垂直に置きます。

ペダル上のカップリングリングをポンプロッドフックにしっかりとかけます。

手か足でペダルを中程度のスピードで踏みます(例: 120 ~ 140回/分)。

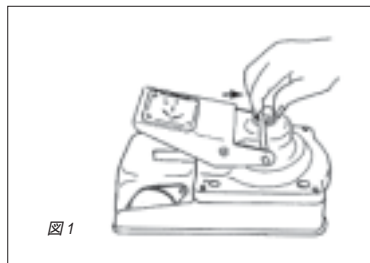


図1

2. リザーバの取り扱い

フロートボールは45°に設定されています。この設定で、本器を水平・垂直に置いて操作しても、正しく機能します。

3. リザーバの内容物がいっぱいになった場合

オーバーフロー防止機能が働いたら、次の通り操作ください。
 リザーバを手前に引っ張り、カバーの一つを取り外し、内容物を出します。

カバーをつけてリザーバを元通りセットします。

これで再び使用可能です。

4. 減圧バルブプラグ

このプラグをつなぐと、バルブが閉じて完全な吸引力を得ることができます。図のようにプラグを取り外すと、陰圧0.2 ~ 0.27bar(150 ~ 200mmHg)で空気が入り、自動・手動のどちらで作動させても、最大陰圧となります。最大陰圧はポンプを幼児に使用する場合に適用します。

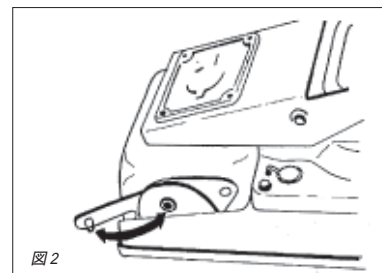


図2

【使用上の注意】

ガス滅菌できません。滅菌・消毒時は、オートクレーブ(121°)煮沸消毒、薬液消毒してください。

吸引物からの感染の無いように、手袋を使うなど、注意して取り扱ってください。

患者さんへの使用前および洗浄・分解・組立後は、正常に機能することを機能点検(裏面参照)で確認ください。

【作動・動作原理】

ペダル上のカップリングリングをポンプロッドフックにしっかりとかけます。ペダルを踏んだ時、このカップリングリングは下部/上部フランジを上を引き上げ、ポンプチャンバ内の体積が増加し、吸引を引き起こします。同時にインレットバルブが開き、アウトレットバルブが閉じます。踏んだペダルが元の位置に戻ると、スプリングがフランジを押し下げ、インレットバルブを通して排出されます。吸引せずにポンプが動いた場合、ペダルを踏んだ時バネによって抵抗が起こります。吸引が行われると、吸引力が増加し、踏む回数が増えるので、ポンプがいつ・どのように吸引しているのかが、簡単にわかります。

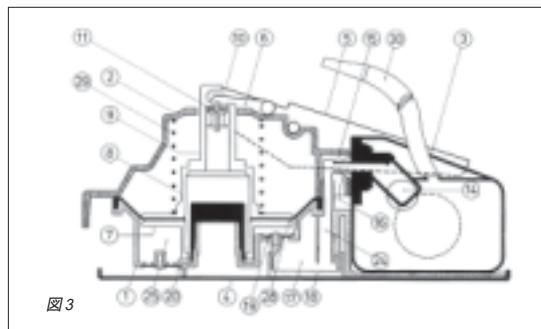


図3

① フレーム、 ② 上部ハウジング(ポリカーボネイト)、 ③ リザーバ(ポリプロピレン)、 ④ ベースプレート(ポリエチレン)、 ⑤ ペダル(スチール、プラスチックコーティング)、 ⑥ カップリングリング、 ⑦ 下部フランジ、 ⑧ 上部フランジ、 ⑨ ポンプロッド(真鍮)、 ⑩ ポンプロッドフック、 ⑪ アウトレットバルブ、 フロートボール、 ニップル、 ラバーコネクタ、 ⑫ トラップチャンバ、 カバー、 ⑬ インレットバルブ(シリコン)、 ⑭ アウトレットバルブ(シリコン)、 ⑮ ポンプチャンバ、 ⑯ ポンプ仕切板(EPDMラバー)、 ⑰ スプリング(ステンレス)、 ⑱ サクシヨンチューブ(シリコン)

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

環境温度：保管 - 40 ~ + 70 、使用 - 20 ~ + 50

【保守・点検に係る事項】

1. 使用者による保守点検事項

<内容物の廃棄>

洗浄、消毒、滅菌前に分解します。
感染防止のため、分解・洗浄時には手袋を使用。

カバー（底）を引っ張って、外してください。

吸引容器の内容物を棄て、洗浄。

<簡単なお手入れのための分解>

1) 使用後、リザーバを外し、洗浄(図4)。止めづめを親指で外し、同時に人差し指でリザーバを引っぱり

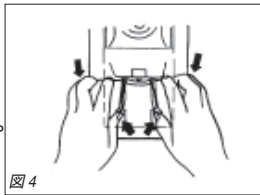


図4

ます。
2) 2つのカバーを外します(但し、ストラップでつけたままにしておきます)。

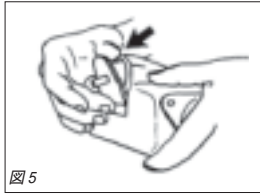


図5

3) リザーバは流水下ですすぎます。

4) オーバーフロープロテクションの取外もできます(図5)。

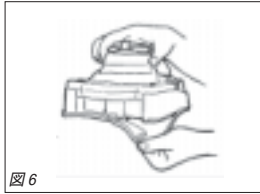


図6

5) オーバーフロープロテクションストッパ上のフランジは、はめ込んだ際にリザーバのへこみにぴったり合います。取付時は、できるかぎり押ししてください。

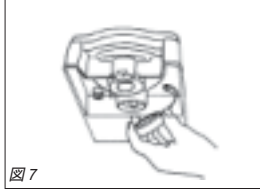


図7

6) リザーバのコネクタに分泌物が残っている場合、トラップチャンバを点検し、必要があれば洗浄。

7) 本器を水平に持ちながら、底のカバーを外します(図6)

8) 水平に持ったまま、ゴムカバーを外します(図7)。

9) トラップチャンバを調べ、掃除。

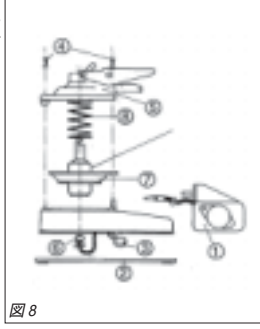


図8

<本器の分解>

1) リザーバ を外します。

2) ベースプレート を外します。

3) トラップチャンバのカバー を取り外します。

4) 下部ハウジングを抑えながら、上部ハウジング の4つのねじを外します(図9)。

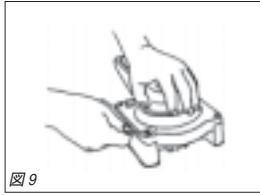


図9

5) 上部ハウジングをまっすぐ上に持ち上げます(図10)。

6) ポンプロッド・ワイヤウイングを反時計方向に回して、モーターインレットコネクタ を外します。(図11)

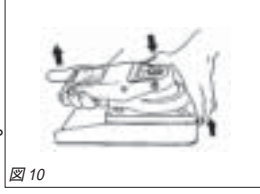


図10

注意：この分解に関しては、弊社またはお買い上げ販売店にお尋ねください。

7) これでポンプチャンバのチェック・洗浄ができます。

<本器の組み立て>

以上の逆の手順で行いますが、以下の点に注意してください。

a) ポンプ仕切りの穴にポンプフレーム上のニップルをはめます。そしてポンプ仕切りの淵をポンプチャンバの周りにしっかりと掛けます(図12)。

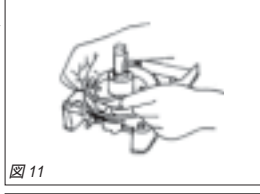


図11

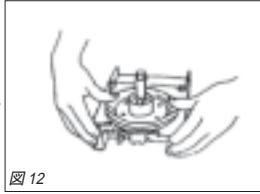


図12

b) 上部ハウジングの組み立てのため、パネを上部ハウジングと一緒に下部ハウジングに取り付けます。(ポンプロッドが上部ハウジングの穴からできるように) 上部ハウジングを押さえながら、ネジ2カ所を指で軽く締めた後、スパナでしっかり締めます(図13)。

c) ベースプレート・カバー・リザーバを取付(図4,5,6)。

<洗浄・消毒・滅菌>

リザーバ・吸引チューブ

前記の通りに分解したあと、全体をすすぎます。その後、洗剤を溶かした水でよく洗浄し、十分にすすぎます。

ポンプ部分

1) リザーバのコネクタに、分泌物が残っていたらトラップチャンバをチェックし、必要であれば洗浄します。

2) 時々、ポンプを外し、洗剤を溶かしたぬるま湯でポンプチャンバを洗って、すすいでください。

薬液消毒

1) リザーバとチューブを薬液に浸漬する際、グルタルアルデヒド系の薬品消毒液を使用してください。

2) ゴム・プラスチック部分の消毒に関しては、使用する薬液の製造業者の取り扱いに関する指示に従ってください。消毒後はよくすすいでください。

3) ポンプチャンバは、消毒液を噴霧してください。

4) ポンプは絶対に薬液に浸漬しないでください。

オートクレーブ

リザーバとチューブはオートクレーブ滅菌できます(121)

<機能点検>

本器を分解し、組立後、以下のテストをしてください。

1) カップリングリングをポンプロッドフックに掛け、ポンプロッドが上下にスムーズに動くことを確かめます。

2) サクションチップの穴を塞ぎ、ペダルを数回踏みます。

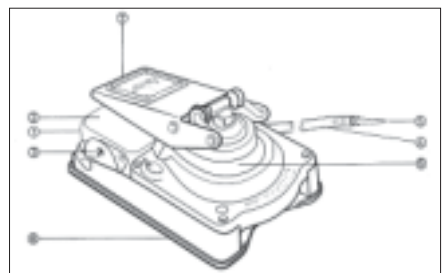
3) サクションチップから指を離して、空気の流入する音を確認してください。

2. 業者による保守点検事項

ポンプは耐久性に優れ、定期点検は必要ありません。

3. パーツ名称

本体、リザーバ、減圧バルブ、サクションチューブ(1400mm、サクションチップ付)、サクションチップ、上部ハウジング(ペダル付)、ペダル(クランプおよびストッパ付)、ベースプレート



【包装】

1個/箱。

【主要文献及び文献請求先】

** アイ・エム・アイ株式会社 商品・市場開発部
110-0014 東京都台東区北土上野 1-10-14 :03-5246-9463
E-mail : support@imimed.co.jp

【製造業者又は輸入販売業者の氏名又は名称及び住所等】

輸入業者の名称：アイ・エム・アイ株式会社

住所：343-0824 埼玉県越谷市流通団地 3-3-12

** 輸入先企業名(国名)：

本社：Ambu A/S (デンマーク)

製造：Ambu A/S (デンマーク) Ambu Limited(中国)